IAUの流星群表の改革と残された問題点(小関正広)

IAUの流星群表（IAUMDC-SD略してSD）で大きな改革が行われた。最も大きなものは登録申請によって与えられるのは、小惑星の場合と同様の仮符号だけになったことである。輻射点の位置も赤道座標のみではなく、標準で太陽中心の黄道座標が与えられるようになった。また、登録申請から半年以内に発表された論文（査読誌およびWGNとeMetNewsのアマチュア２誌）が提出されなければ登録は削除される。基本的にこのような手順を踏まれたものはMDC（流星データセンター）での検討を経ることなく、受理される。従って、申請者及び論文査読者／編集者には細心の注意が求められる。

本稿ではSDで重複登録されたとみられるものが集中しているNos.1107～1129の部分について問題点を検討し、申請者及び査読者／編集者に求められる注意点を探った。